

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

「北海道内の自治体における市民活動団体との協働に関する調査」結果をお知らせします。

平成20年2月に道内市町村を対象に行った「北海道内の自治体における市民活動団体との協働に関する調査」を行いましたので、その結果概要について、ご報告いたします。

【調査の目的】

住み良いまち、安心して暮らせる地域社会にするためには、これまで以上に地域の様々な課題解決に取り組む市民活動団体と自治体とのパートナーシップに基づく協働関係が求められてきています。

このため、道内の自治体が市民活動に対し、これまでどのような支援を行い、今後どのような視点で取り組んで行くのかを把握し、これからの市民活動支援の一助とするため調査を行いました。

【調査対象】

北海道内の180市町村（平成20年1月末日現在）を対象に実施しました。

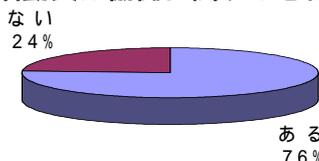
【調査方法】

郵送によるアンケート調査

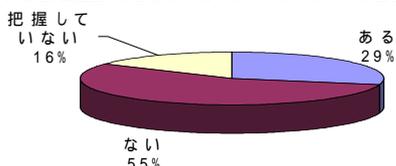
- ・調査期間：平成20年2月～3月
- ・発送数：180市町村
- ・回答数：164市町村
- ・回答率：91.1%

【基本的な調査結果の概要】

市民活動又は協働に関する窓口の有無



市民活動に関するイベントの開催の有無



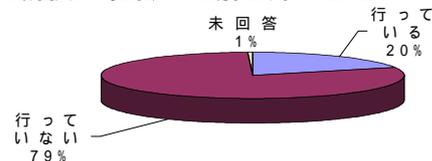
中間支援組織の有無



-1 中間支援組織に期待すること（選択）

「情報提供」、「協働のコーディネート」、「人材の確保・教育の支援」の順に多かった。

市民活動・協働の理解を深めるための職員研修



現在行っている協働の形態（詳細次頁）

「事業実施にあたっての市民活動団体の参加・協力」と「補助金や助成金等による資金援助」が最も多かった。

市民活動団体の選択基準（詳細次頁）

「活動内容に社会性や公益性があること」が最も多かった。

協働事業における効果（詳細次頁）

「市民参加の機会の提供につながる」が最も多かった。

協働事業における課題（詳細次頁）

「協働事業を行う目的・役割分担を明確にすること」が最も多かった。

市民活動団体に期待すること（詳細次頁）

「人材の育成」が最も多かった。

今後拡大したい分野（詳細次頁）

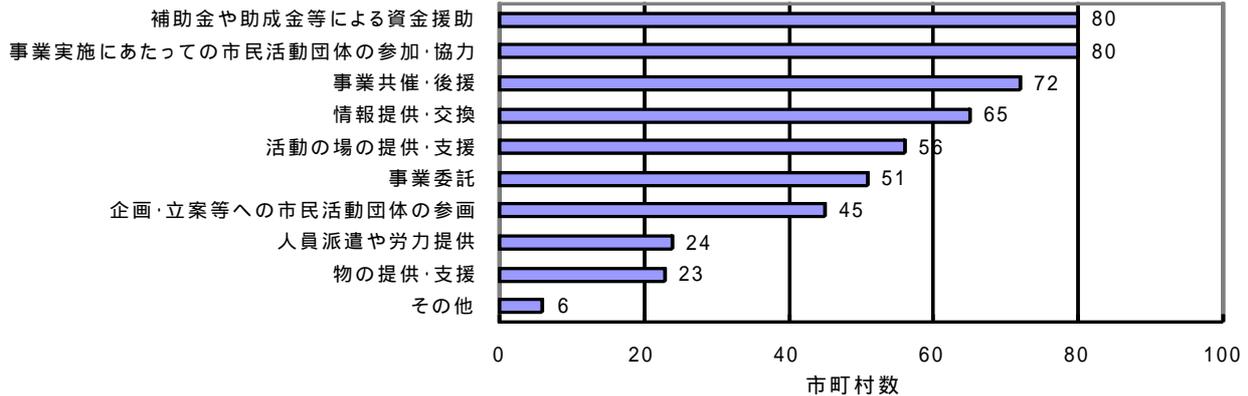
「まちづくり」が最も多かった。

特集：「北海道内の自治体における市民活動団体との協働に関する調査」報告

設問を抜粋して、調査結果をご報告します。

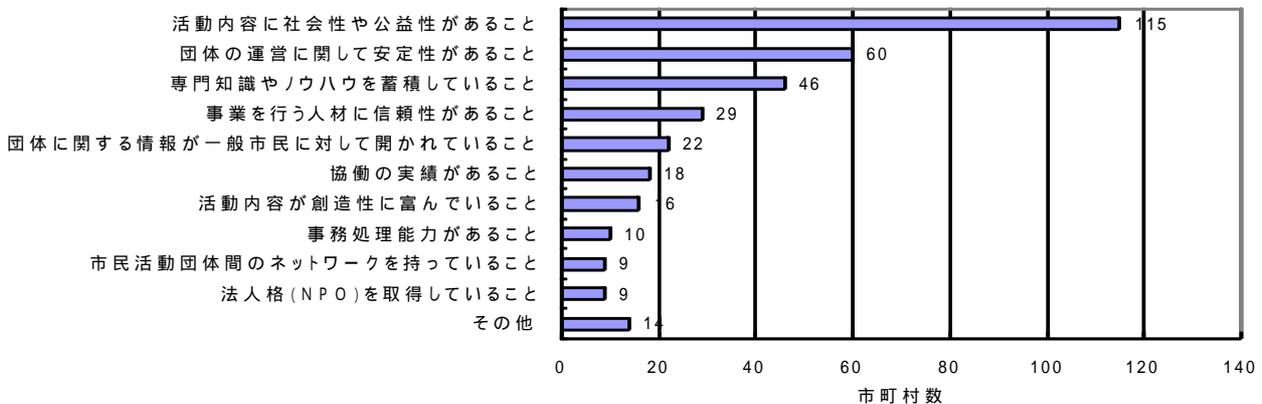
現在行っている協働の形態（複数回答有）

「貴市町村における市民活動団体との協働事業は、どのような形態ですか？」との問いに対して、「事業実施にあたっての市民活動団体の参加・協力」と「補助金や助成金等による資金援助」が最も多く、次いで「事業共催・後援」の順であった。また、その他の回答としては「施設管理業務（指定管理者）」「団体がない」などがあった。



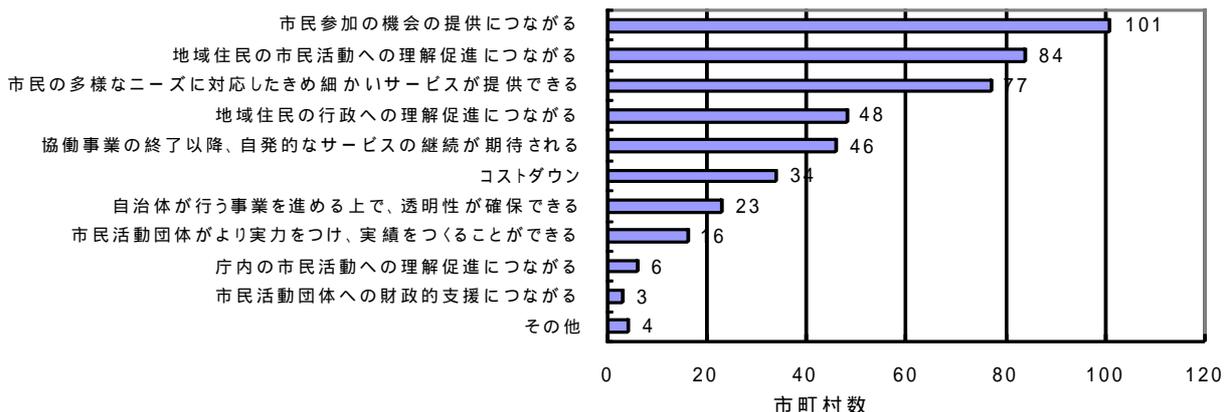
市民活動団体の選択基準（複数回答有）

「協働事業のパートナーとして市民活動団体を選択する際の基準はどのようなことですか？」との問いに対して、「活動内容に社会性や公益性があること」が最も多く、次いで「団体の運営に関して安定性があること」の順であった。また、その他回の答としては「協働の事業内容が団体の活動の主旨にしていること」などがあった。



協働事業における効果（複数回答有）

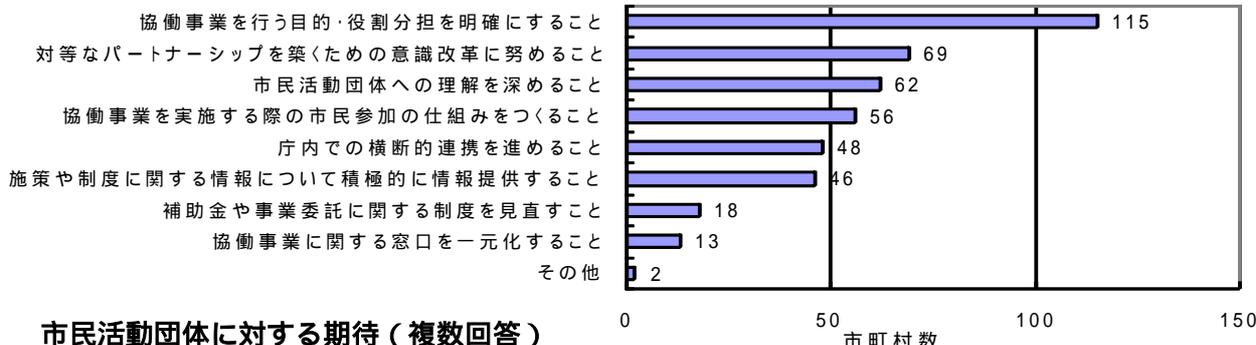
「市民活動団体との協働事業によって期待する効果は何ですか？」との問いに対して、「市民参加の機会の提供につながる」が最も多く、次いで「地域住民の市民活動への理解促進につながる」の順であった。



特集：「北海道内の自治体における市民活動団体との協働に関する調査」報告

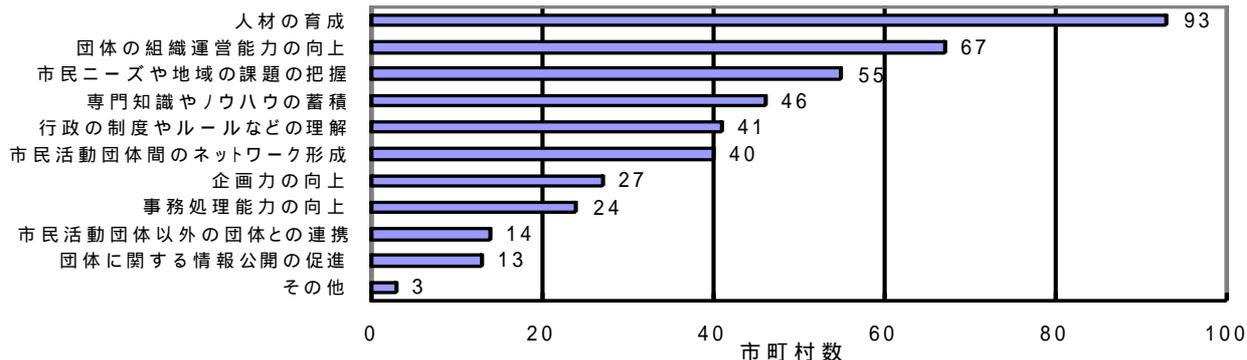
協働事業における課題（複数回答有）

「今後、市民活動団体との協働を進める上でどのようなことが自治体として必要だとお考えですか？」との問いに対して、「協働事業を行う目的・役割分担を明確にすること」が最も多く、次いで「対等なパートナーシップを築くための意識改革に努めること」の順であった。また、その他の回答としては「協働を中立的な立場で評価、改善提案する第3者機関の設置」などがあつた。



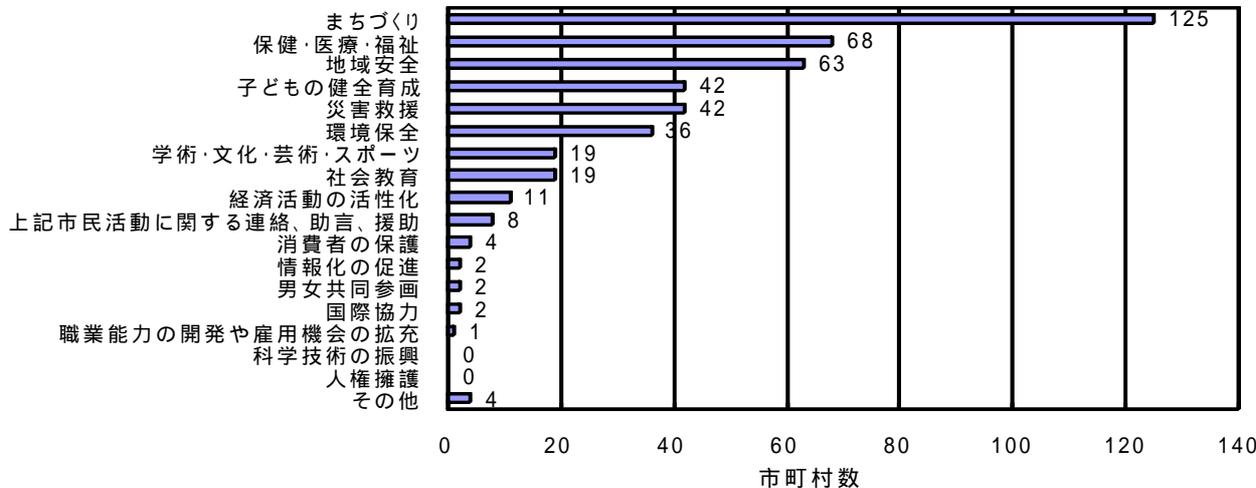
市民活動団体に対する期待（複数回答）

「今後、協働事業をより良くするために市民活動団体に対して求めることは何ですか？」との問いに対して、「人材の育成」が最も多く、次いで「団体の組織運営能力の向上」の順であった。また、その他の回答としては「市民・行政への十分な説明責任」「自発性、自立性」などがあつた。



拡大したい分野（複数回答）

「今後、市民活動団体との協働を進める上で拡大していきたいと考える分野はどれですか？」との問いに対して、「まちづくり」が最も多く、次いで「保健・医療・福祉」、「地域安全」の順であった。



今回は、自治体における市民活動団体（NPO等）との協働の状況や今後の期待等について調査しました。協働には様々な形態がありますが、問の回答から、なんらかの形態で市民活動団体と協働事業を実施した市町村は約9割を占めました。この調査から皆さんが活動している地域の自治体と協働する上で、自治体が考える課題や効果、市民活動団体に期待していること等、今後の協働や活動に参考として役立てていただければ幸いです。

センターインフォメーション

当センターで開催する事業のお知らせ

NPO実務講座

～基礎・組織運営編／法人設立手続編～

この講座は、市民活動を展開していくための基本的な知識や手法を学ぶ「基礎・組織運営編」とNPO法人設立に必要な手続きや書類作成に関する知識の習得を図る「法人設立手続編」とがあります。

日 時：平成20年9月6日(土) 13:00～16:45

「基礎・組織運営編」(13:00～14:45)

「法人設立手続編」(15:00～16:45)

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動に関心のある方、すでに活動している方等

内 容：

「基礎・組織運営編」

講師：東田秀美さん

(市民活動スペース アウ・クル代表、
NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長)

講義：「NPOとNPO法人の基礎知識

(メリット・デメリット他)」

「組織づくりの入門編」など

「法人設立手続編」

講師：井川 智さん

(北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課
協働推進グループ主査)

講義：「申請に必要な手続き」

「書類作成の留意事項」など

参加料：各300円(資料代)

定 員：各20名(先着順)

市民活動協働開催講座

これで安心！「札幌公共交通おでかけ講座」

～「環境と交通」、「なまら便利なバスマップ」の使い方～

日 時：平成20年7月11日(金) 18:00～19:30

7月27日(日) 14:00～15:30

8月 1日(金) 18:00～19:30

全て同一の内容です。都合の合う日で申込み下さい。

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：環境負荷低減を実行しようとしている方や

公共交通機関をうまく使いこなせない方など

内 容：講師

松本公洋さん(NPO法人交通倶楽部ゆうらん理事長)

札幌市の公共交通機関の路線図を一元化した

「なまら便利なバスマップ」第3版の使い方や環境にもたらす影響について学びます。

参加料：各200円

定 員：各20名(先着順)

共 催：NPO法人交通倶楽部ゆうらん

講座情報等、詳しくは当センターホームページをご参照下さい。 <http://www.do-shiminkatsudo.jp/>

市民活動ミニフェア

「市民活動パネル展」

7月25日(金)の「カルチャーナイト」にあわせて、道内で活動している市民活動団体を紹介するパネル展(7月24日～25日)を開催します。

福祉や環境、まちづくりなどさまざまな分野で活躍している市民活動団体の活動パネルを是非ご覧下さい。

会場では、そば打ち講習と試食会もあります。

日 時：平成19年7月24日(木) 13:00～21:00

平成19年7月25日(金) 9:00～21:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

入場料：無料(申込みは不要です)

パネル展の参加(出展)団体募集中です。

規格：1団体1枚、A2版縦(594mm×420mm)

内容：団体名、活動内容、連絡先、その他PRなど

出展希望の団体は、7月4日(金)までにお

申し込み(先着80団体)の上、7月17日

(火)までに作成したポスターを送付下さい。

「デジタルアートの展示会」

NPO法人札幌シニアネットの会員がパソコンを利用して、画像を自由に創作した作品の展示会を開催します。デジタルアートを是非、ご覧下さい。

日 程：平成20年7月9日(水)～11日(金)

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

入場料：無料(申込みは不要です)

共 催：NPO法人札幌シニアネット

「ふれあい広場～てらこ屋の活動報告展」

主に小学生を対象とした工作教室や手芸教室を行っている「てらこ屋ひ・ふ・み」と共催で子ども達の作品や写真の展示、工作体験のミニ講座を開催します。

日 時：平成20年8月29日(金)～31日(日)

9:00～18:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

入場料：無料(ミニ講座の参加者は300円)

内 容：こどもの作品展示

活動の様子の写真展示

ミニ講座(工作体験)

共 催：てらこ屋ひ・ふ・み

編集後記

今年度もインフォメーションでご紹介しました事業以外にさまざまな内容の講座を開催する予定です。

開催日等決定しだい、順次ホームページや情報誌でご紹介致します。お見逃しなく!(ヤ)